

# アディエスマミリー「お住まい拝見レポート」

もみの木の温もりに包まれた  
お気に入りのカフェのような  
くつろぎの家

思ひを叶えたおしゃれな住まいは  
ご両親との暮らしを考慮した  
暖かなバリアフリーの造り



「初めての冬を迎えてアヴィエスホームの暖かさを実感した」というYさんとお母様。もみの木の床も暖かく、冬でもたいていの日は素足で過ごしているそう。リビングとダイニングは、3枚のスライドドアで仕切って独立した空間も作れるようにしました。

Yさん「初めて利府展示場を訪れたのは、昨年の1月。「外観の雰囲気にひかれて入りましたが、中に入つてすぐ、二ニに決めようと思いました。直感ですね。就職したときから、30歳で家を建てるといつ目標を持っていたYさん。2,3年前からどんな家にしたいのか、外観や間取りなどのイメージを描いていたそです。

ひとめぼれに近い？！」アヴィエスホームとの出会いですが、決め手は何と云っても、もみの木の床。自然の素材が醸し出すやさしい風合いや、素足での肌触り、温かさがぴたり希望と一致しました。スピノラの壁も気に入つて下さり、外壁、室内ともに使用。特に室内の壁は、消臭、断熱効果に加え、人の手で塗られているのがいい。木と同じく傷や汚れがついてもそれも味わいになります」と大満足の様子。

「契約から引渡しまで、忙しいスケジュールでしたが、自分の思い描いていたものが形になつていくのが樂しかったとか。目標の30歳直前、願い通りの木の温もりを感じる、明るく暖かい家ができ上がりました。

取材時に、取材スタッフ一同「おしゃれへ」と感嘆のため「キ」を漏らしたYちゃんのお宅。インテリアはお気に入りのカフェを参考にして「いろいろ」設計時にイメージを共有するためにスタッフもYさんと一緒にカフェに訪れ、そこで契約を交わしたとか。Yさんは「スタッフの方と一緒にいい家を造る」という熱い思いが伝わりました。年齢も近く、親しく話せたので希望を伝えやすかった。夢の実現をしつかりサポートしてくれました」と話して下さいました。



朝食はキッチンとダイニングの間のカウンターで。豆を挽いてコーヒーを入れるのがこだわり。キッチンコンロは遠赤外線で調理するラジエントヒーターを設置。



吹き抜けから明るい光が差し込む玄関ホール。中に入るとふわりと木の香が漂います。廊下や各部屋の入口、バスルームやトイレはスペースを広くとり、段差のないフロアでバリアフリーの造りに



3つ並んだ窓が寝室のアクセントに。窓枠をはじめ家の中の建具は無垢のパイン材を使用しています。天井には有害物質などを吸着する材質を使っています。



「天気の良い日は、周りのご近所の壁に反射しておひさまが集まってくれんですよ。」とお母様。その感性がステキです。



2階へのリビング階段をらせん階段に。  
日の光やライトを向けた時の白壁に落ちる影も  
味わい深いインテリアのひとつ。



ホールからリビング、ダイニングの眺め。家のイメージを描きながら少しづつ集めていた、ひとつひとつデザインも作年代も違うイスが独特の温もりのある雰囲気を作っています。



明るく日差しが差し込む2階ホール。  
木のフレームに細いアルミパイプを配した手すりのアイデアと  
デザインはYさんのオリジナル。



担当より一言